

法遍寺 から大切な 皆様へ

2019年6月1日

日蓮正宗 年間方針

勇躍前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成

勇猛果敢の折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏推進

誓願達成

罪障消滅

② 講中一結で御講参詣

異体同心の団結

折伏成就

③ 登山参詣で育成推進

心身浄化

功德无量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2019年5月12日の御報恩御講&合同支部総会の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について

住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

御本尊には御題目を中心に、釈迦・多宝の二仏、四菩薩をはじめ、諸天・諸神などのあらゆる十界生命の主体が具体的に認められています。これらの方々は、久遠元初の「南無妙法蓮華経 日蓮」という仏界に摂する存在であり、妙法を信受する衆生を守護するお立場にあられます。つまり御本尊の中の個々の生命は、久遠元初の本仏の生命に包括され、本仏と一体とする生命であり、九界の立場において仏様をお護りし、かつこの娑婆にあって私たち凡夫を守護されるのです。「天照太神」や「鬼子母神」などの諸神は、御本尊の中におられるが故に「善」の働きをなすのであり、個々を取り出して礼拝しても何の利益もありません。勤行における諸天供養の観念をしつかりと勤め、益々信行を倍増し、この信心の素晴らしさを弘めていきましょう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ (前号の続き)

第56世・日應上人のご指南に、「この金口嫡々相承を受けざれば、けつして本尊の書写をなすことあたわず」「この金口の血脈こそ宗祖の法魂を写し本尊の極意を伝えるものなり。これを真の唯授一人という」(弁惑観心抄212・219頁)また第59世・日亨上人は「曼荼羅書写、本尊授与の事は宗門第一尊嚴の化儀なり」(富士宗学要集1巻112頁)と仰せになり、他門流の不相伝の者たちが猥りに曼荼羅を書き散らすことを無法無慙として喝破されています。創価学会は第26世・日寛上人書写の御本尊を利用し、複製コピーをしているので、他門流の所行と同等、否それ以上の謗法となります。御本尊に関する一切の権能を所持する御法主上人のもとを離れた創価学会には大聖人の仏法はありません。日蓮大聖人の真の仏法は日蓮正宗にあります。

③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

宗教には必ず実践が伴います。理論的に立派な教えであっても、それが現実に生かされないものであれば何の役にも立ちません。その理論的な教義を現実に証明し、民衆を救済する教主は日蓮大聖人ただ一人です。大聖人は、本尊は勝れたるを用うべしと仰せになり、信仰的は最も勝れた法でなければ信じてはならないと仰せです。凡夫である私たちが私情を挟んだり、道理に合わない勝手な気持ちから、それを信仰的にしてはいけません。正しい筋道の上に立った最も勝れた法を信仰的としてこそ幸福と成仏があります。仏様は医者で私たちは病人です。病によって薬はありますが、病状を無視して薬はありません。この末法という時代は、一番最上の法である『妙法の御本尊』でなければ世の中の人を救うことも病気を直すこともできないのです。法遍寺をお訪ね下さい。